

④ 沖ノ島とその周辺 海岸林、海岸植物、海の植物アマモの観察できる小島

【概要】城山山頂からの富士山の眺望とホルトノキの巨木、そして徒歩で館山湾の二つの小島（鷹ノ島、沖ノ島）の海岸林（タブノキ）と海岸植物が観察できる。沖ノ島は周囲1kmの陸続きの小島で、北限に近いサンゴが生育する暖かく浅い海に囲まれており、アマモ、コアマモが生育している。周辺には館山城址公園などの見所もある。

【森林の特徴と見所・歴史文化】

（城山）

戦国時代に里見氏が居城をかまえた場所で観光用の天守閣様式の館山城があり、山全体が公園となっている。園内には梅園やツツジ園、椿の径などがある。南東斜面にはスイセンが5,000球ほど植られている。植生は基本的には照葉樹林であるが、特徴的な木はホルトノキとマテバシイ、それにセンダンである。ホルトノキは17本確認されており、最大株は株元周囲長454cm。周囲長が3m以上の個体は7個体。東南の尾根筋にはマテバシイの萌芽林がある。センダンは7本で最大株は胸高周囲長が283cm。展望台からは館山湾にある鷹ノ島と沖ノ島、そして市街地や大房岬、伊予ヶ岳そして富士山が眺められる。

（鷹ノ島）

館山市西端の海上自衛隊館山航空基地の北端にある南北230mの小さな島である。かつては孤島であったが埋め立てられた。弁天閣を中心にタブノキが45本確認されており、海岸林の主役である。御神木となっている巨木の胸高周囲長は380cm。高木層には常緑樹のタブノキ、シロダモ、ヤブニッケイと落葉樹のムクノキ、リュウキュウハゼ、カラスザンショウの混交林となっている。

（沖ノ島）

南房総国立公園の一つで周囲1kmの小島である。陸から500mほど離れていたが、関東大震災時の隆起や海流によって砂が集積して陸とつながった（陸繋島）。磯釣りや夏は海水浴場として家族連れで賑わう。周囲は浅い海に囲まれ、水深2m位のところに北限に近い造礁サンゴが生育する。また、8000年前の縄文海中遺跡が発見された。

この浅い海では海に入った植物として知られるアマモがある。アマモは島に向かって左側の浅瀬に生育しており、右側にはコアマモがある。ここは海岸林が発達しタブノキやヤブニッケイも多数

生育している。この島の特徴は海岸植物が見られることで砂浜では4月にコウボウムギ、コウボウシバ、5月にはハマヒルガオ、ハマエンドウの花が見られる。岩場では3月にヒゲシバ、5月にはハマボスの白花、夏にはハマナタマメのピンクの花が見られる。6月は伊豆諸島などに多く見られる局地種のガクアジサイが青色の花をつける。8～9月はハマカンゾウ、11月には局地種のイソギクやハチジョウススキとの交雑種であるエノシマスキの穂波がみられる。

夏にこの島を訪れると森の役割が実感できる。海水浴場の砂の照り返しは熱く裸足で歩けないが、一步この森に入ると林内は涼しく、海辺のオアシスとなっている。冬も同様である。

【一口メモ】

〔陸繋島（りくけいとう）〕砂州により繋がった島。

〔局地種〕限られた地域に生育する種類。

〔ギャップ〕林床の暗い森林に出来た、林床まで光が差し込む隙間である。鷹ノ島や沖ノ島はしばしば台風の影響で海岸林を構成するタブノキやヤブニッケイが倒木すると光が差込み、ムクノキやカラスザンショウなど陽樹が生育する。

【コース紹介】

城山公園の駐車場から展望台に向かう途中①ホルトノキの巨木が多数観察出来る。「椿の小径」を通過して展望台②へ出ると館山湾が望め、鷹ノ島、沖ノ島などが見える。安房博物館を通り、館山小学校前を右折し海岸通りに入る。海上自衛隊館山航空基地前を右折すると鷹ノ島③。弁天閣前には御神木のタブノキがある。小島の中央の道を抜けると海岸通りに入る。ここを左に曲がると沖ノ島入り口④。陸地と沖ノ島は砂州で繋がっている。左側の砂浜を通る時、運が良ければアマモの葉が拾える。中央広場を通り左に折れると、宇賀神社⑤のタブノキの御神木（夫婦）が観察できる。海

岸⑥に降りると岩場の植物が観察できる。引き返して小径を進むと西の海岸⑦に着く。



①ホルトノキの巨木



②城山展望台からの眺望



③鷹ノ島のタブノキ林



④陸繋島沖ノ島



⑥沖ノ島の海岸（岩場）



⑦沖ノ島の海岸（砂場）

野外講座企画のための情報

FS 指数： 水平距離：7km 登高差：65m

昼食場所候補：沖ノ島海岸、沖ノ島内公園（中央）

安全確保上の留意点：勾配が急で滑りやすい

近隣の見所：館山城、館山市立博物館、戦跡・館山海軍航空隊赤山地下壕跡、渚の駅

コースで見られる主な植物等

【木本類】

タブノキ、ヤブニッケイ、シロダモ、モチノキ、エノキ、ムクノキ、カラスザンショウ、ミズキ、リュウキュウハゼ、アカメガシワ、ハリギリなど

【草本類・シダ類】

ラセイタソウ、ネコノシタ、イソギク、イワダレソウ、キケマン、ハマウド、ハマゼリ、ツルナ、ハマオモト、タイトゴメ、スカシユリ、ハマカンゾウ、ソナレムグラ、ハマボッスなど

【栽培種・逸出種・外来種等】

メマツヨイグサ、コマツヨイグサ、オオマツヨイグサ、ハリノホ、ダンドボロギク、ブタクサ、ベニバナボロギク、ダンドクなど